



事業概要

「だれひとり取り残さない教育」を推進

- ① 地域クラブ活動の整備や充実、放課後子ども教室の拡充によるこれまでにない新たな学びの場を創出します。
- ② 多様な活動機会を創出することにより、生涯にわたり活躍できるキャリア教育を推進します。
- ③ 教員免許をもつ専門員による登校支援事業、保護者を含めた相談体制の拡充、教育DX、居場所づくり(学外含)、教員多忙化解消に向けた新たな取組により「個に寄り添う」教育を推進します。

本市の課題

- ① 学校だけでは学べない多様な経験が求められる中、市・学校・地域・企業等が協力して、子どもたちが多種多様なスポーツ、文化芸術活動を経験し、生きる力を育むことができる場づくりが課題となっています。
- ② 生きづらさや不安を感じて苦しんでいる、多様な個性を持つ子どもたちに対して、子どもたちに寄り添う受け皿を用意することが急務です。



目標

「だれひとり取り残されない社会」の実現へ

「地域の子どもたちは学校を含めた地域で育てる」といった考え方の下、産・官・学・地域の連携により、子どもたちが活動できる多種多様な学びの場を創出するとともに、子どもから大人まで、一人ひとりが生涯にわたり輝き続けることのできる環境の整備を目指します。

また、様々な理由から学校生活に馴染めず、生きづらさや不安を感じる子どもたちに対する居場所づくりや学び直しへの支援、子どもだけでなく保護者も含めた相談しやすい体制をつくり、一人ひとりの個性に寄り添った体制整備を目指します。

事業計画

2023年度：地域クラブ活動や学びの場の環境整備を開始
 2024年度：市内全中学校に不登校生徒支援のための校内ハートフレンド設置・登校支援員増員
 多様な学びの場創出（放課後子ども教室・クラブ活動等）の実証事業実施
 2025年度～：民間団体等による学びの場の自主運営化を目指した活動支援、不登校児童生徒の支援体制の構築・継続

目標額

1億5千万円/年

地域クラブ活動創出 800万円/年
 放課後子ども教室運営 6,000万円/年
 登校支援 8,200万円/年

ベネフィット

- ・感謝状贈呈
- ・プレスリリース
- ・広報紙、SNS等での紹介

岩田教育長所信表明全文
(ぜひご覧下さい)



登校支援 (動画紹介)

・登校支援事業 学校ソーシャルワーカーによる相談体制
 につきんテレビR5.7月号 につきんテレビR4.9月号



体験活動
文化芸術
スポーツ
学習支援

